

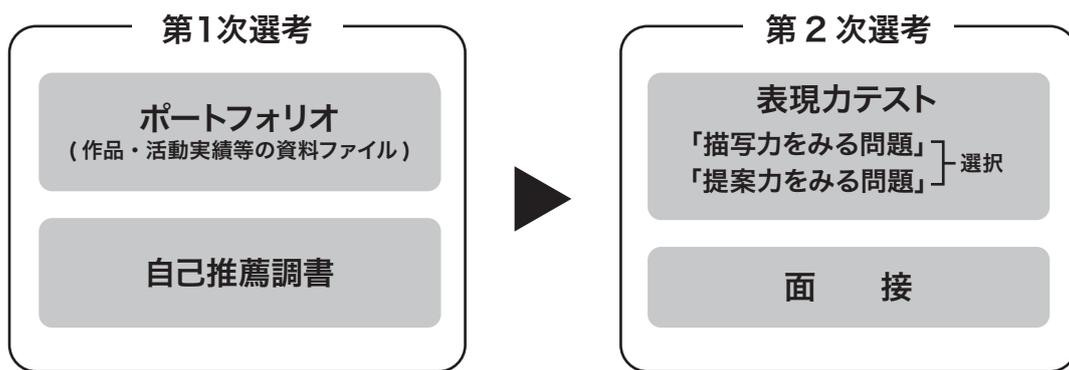
武蔵野美術大学 造形学部 デザイン情報学科

2023 年度 総合型選抜の変更について

2023 年度の デザイン情報学科総合型選抜は、2022 年度までの「表現力重視方式」と「実績重視方式」の 2 方式から「一般方式」の 1 方式のみとします。「一般方式」の 1 次選考は、ポートフォリオ（作品・活動実績等の資料ファイル）と自己推薦調書（指定書式）による審査を行います。2 次選考は表現力テストと面接を行った上で総合的に判断し合否判定します。表現力テストは、「描写力をみる問題」か「提案力をみる

問題」を選択することができます。「描写力をみる問題」は、配付モチーフを鉛筆デッサンする問題で、形状や質感の描写力や画面の構成力等を評価します。「提案力をみる問題」は、問題文から課題を設定し、その解決策を図解と文章で解答する問題で、発想力と説明能力を評価します。

詳細は 2023 年度学生募集要項（総合型選抜 [前期]）を参照してください。



表現力テストについて

● 形式：選択式実技試験

表現力テストは、当日に出題する「描写力をみる問題」か「提案力をみる問題」かどちらか一方を選択し解答する実技試験で、「描写力をみる問題」は解答用紙は B3 サイズの画用紙を配付します。「提案力をみる問題」は指定の解答用紙を配付します。

● 評価のポイント

「描写力をみる問題」は、形状や質感の描写力や画面の構成力等を評価します。

「提案力をみる問題」は、問題文から課題を設定し、その解決策を図解と文章で解答する問題で、発想力と説明能力を評価します。

● 携行用具

「描写力をみる問題」

鉛筆、消具、カッターナイフ、フィクサティーフ（定着液）、その他鉛筆デッサン用具

（カルトン、クリップは当日貸与するものを使用してください。）

「提案力をみる問題」

鉛筆またはシャープペンシル、色鉛筆、消具、直定規、三角定規、コンパス

※ 試験当日に問題の選択をするため、携行用具は両方持参してもかまいません。

